

## 塾長の独り言 NO110 H20.12.15

### 「アメリカのすごさ！」

12月14日、昨日は忠臣蔵の討ち入りの日ですね。  
江戸元禄の時代のバブル絶頂の時代の頃、「武士の義」を貫いた事件です。

#### 何を大切にするのか？

彼ら四十七士は、義、つまりは武士としての名誉を選択したのですね。

さて、現代においてもアメリカのバブルもリーマンショックにより、日本でも「トヨタショック」「ソニーショック」始め、大不況のはじまりのような様相ですね。

アメリカでは、自動車ビッグ3が倒産の危機

連邦政府に救済の要請出すも、アメリカ上院議会議が・・・なんと法案否決！

これでGMは年内に資金ショート

クライスラーも1月中には同じ資金ショートするだろうと・・・

すごいことですね。

これが「アメリカの凄さ！」・・・垣間見ました。

日本では決して、こんなことにはならない。

無駄と分かっているにもかかわらず多くの雇用者を守るという大義名分の元に、政府もマスコミも救済するだろう。しかし、その過去の常識的な選択が本当に正しいのだろうか？・・・と個人的には思っていました。

2兆円もの大金を投資するなら、**将来に効果のある事業に投資すべき！**という考え。

まさにこれが「戦略的思考」の原則。

過去からの遺産である「現在の泥舟」を救済するのか？

それとも「未来への希望の「ノアの箱舟」に投資するのか？

明治維新の時、幕府側で敗戦し焦土となった越後長岡藩「百俵の米」の逸話と同じですね。

百俵の米は藩民全員で食べれば、あっというまになくなるが・・・その時の小林虎三郎は・・・

その百俵の米で「将来の為に」子供たちが学ぶために使った。

#### **目先の損得より、未来の希望の為に・・・**

自分たち大人は我慢してでも、将来の為に子供たちには・・・

江戸時代の末期には、そんな高き志の人たちがいたのですね。

#### <コメント>

アメリカの凄さを感じました。

**「戦略的思考」・・・投資対効果を考える！**

**選択と集中とは、明確に捨てることを決めることから始まります。**

捨てることからしか、新しく得ることは出来ないのです。

我々日本人も、将来・未来の為に何を捨てるのか？

ドラッカー博士も「機会に強みを集中投資しろ！」と言っています。

問題にいくら優秀な人材と資源を投資しても、マイナスをゼロにするだけ。

**決してプラス(成長)にはならない！希望なきところに人として、生きていけない。**